

大使館情報

2021年10月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
- (2) 国家安全保障法（LSN）廃止法の裁可
- (3) 9月7日独立記念日デモ関連
- (4) 反政府デモの発生
- (5) ボルソナーロ政権発足1000日関連行事
- (6) 選挙制度改革に関する憲法修正案の上院通過と公布
- (7) ボルソナーロ政権の支持率

[外交]

- (1) アフガニスタン難民に対する人道上の理由による入国査証の発給
- (2) モウラオン副大統領・外交団による東アマゾン地域視察
- (3) ボルソナーロ大統領のBRICS首脳会合出席
- (4) ボルソナーロ大統領の国連総会出席
- (5) フランサ外相の国連総会出席

3. トピックス

- (1) 山田大使のマット・グロッシ・ド・スール州訪問
- (2) 「新型コロナウイルス感染症に対する組織的能力強化プロジェクト」に係る補足取極の署名

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（9月発表の経済指標）※貿易収支は10月発表

- (ア) 7月の鉱工業生産指数は前月比▲1.3%、前年同月比では+1.2%となった。
- (イ) 7月の小売売上高は前月比+1.2%、前年同月比+5.7%となった。
- (ウ) 8月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.87%となり、前月（0.96%）から上昇幅は0.09%ポイント縮小。直近12カ月累計は+9.68%となり、前月（同+8.99%）から上昇幅は0.69%ポイント拡大。
- (エ) 失業率（2021年5～7月）は13.7%となり、3か月前（2～4月）の移動平均14.7%から1.0%ポイント低下した。また前年同期比（2020年5～7月：13.8%）では0.1%ポイント低下した。
- (オ) 2021年9月の貿易収支は43.2億ドルの黒字。2021年1～9月の累計は564.3億ドルの黒字。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、9月24日時点で、GDP成長率予測については、2021年は5.04%（前週から変わらず）で、2022年は1.57%（前週から0.06%ポイント低下）となった。インフレ率については、2021年は8.45%（前週から0.10%ポイント上昇）で、2022年は4.12%（前週から0.02%ポイント上昇）となった。2021年第2四半期（4～6月）の実質GDP成長率は、前期比▲0.1%（季調済）と4四半期ぶりのマイナス成長となり、前年同期比+12.4%と2四半期連続のプラス成長となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 9月2日、下院は所得税についての税制改革案（今年6月に政府から議会へ提出されたもの）の修正案を可決。個人所得税の最低課税所得の引上げ（1,903.99リアル→2500.01リアル以上）、法人税の税率引下げ（15%→8%）、CSLL（社会負担金）の税率引下げ（一般法人の場合9%→8%）配当金への課税（15%）等が含まれている。
- (イ) 9月16日、ボルソナーロ大統領は、貸出に係る金融取引税の税率を9月20日から12月31日まで一時的に引き上げるとの大統領令を公表。税率の変更は、法人については年率1.5%→同2.04%、個人については年率3.0%→同4.08%。新たな社会保障制度アウシーリオブラジル（Auxilio Brasil）等の財源に充てられる。8月9日、ボルソナーロ大統領は、新たな社会保障制度アウシーリオブラジル（Auxilio Brasil）を導入するための暫定措置令を議会に提出。11月に発効予定で、既存の制度ボルサファミリアの代替となる。

(3) 金融政策

9月21及び22日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) は、政策金利である Selic 金利を 100bp 引き上げ 6.25% とすることを決定した。政策金利に引上げは3月、5月、6月、8月に続き5会合連続。次回会合は10月26及び27日に開催予定。。

(4) 為替市場

(ア) 9月の為替市場は 5.16～5.44 レアル/ドルで推移。

(イ) 月の前半は 5.16～5.32 レアル/ドルで推移。9月7日の独立記念日で、大統領が最高裁判事を批判する等、政治的緊張の高まりを背景にレアル安となった。同9日に大統領が最高裁判事や連邦議会を攻撃する意図はなかったとの内容を含む声明を発表したことで、政治的緊張は落ち着きを取り戻した。その後は、伯中央銀行の金融政策の見通し等を材料に上下する展開となった。

(ウ) 月の後半は 5.25～5.44 レアル/ドルで推移。中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念を背景としたリスクオフの動きや、米国金融緩和の縮小観測の高まり等を材料にレアル安の展開となった。

(5) 株式市場

(ア) 9月の株式市場は 108,844～119,396 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は 113,413～119,396 ポイントで推移。為替と同様に、独立記念日における大統領の発言による政治的緊張の高まりを背景に下落するも、大統領が声明の発表したことで回復。その後は資源価格の動向等を材料に上下する展開となった。

(ウ) 月の後半は 108,844～114,064 で推移。中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念等を材料に下落傾向となる展開となった。

2. ブラジル政治情勢 (9月の出来事)

【内政】

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

9月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会 (CPI) の証人喚問及び参考人招致が行われた。1日、VTCLog社のバイク便配達員を務めるイヴァニルド・ゴンサルヴェス氏が、2日、フランシスコ・アラウージョ元連邦直轄区 (DF) 保健局長が、14日、FIB Bank社の実質的なオーナーとされるトンレンチーノ弁護士が、15日、マルコニー・アルベルナス・デ・ファリア氏が、21日、ロザリオ連邦総監督庁 (CGU) 長官が、22日、Prevent Senior社のバチスタ・ジュニオール社長が、23日、ダニロ・トレント氏が、28日、

ブルーナ・モラト弁護士が、29日、実業家であるルシアーノ・ハンギ・HAVAN社社長が供述を行った。

(2) 国家安全保障法 (LSN) 廃止法の裁可

9月2日、ボルソナーロ大統領は、国家安全保障法 (LSN) を廃止し、新たに民主主義及び法の支配に対する犯罪に罰則を設ける法律の中で、選挙プロセスにおけるフェイクニュースの拡散、デモの権利に対する攻撃、軍人及び警察官の民主主義及び法の支配に対する犯罪の厳罰化等、5項目に対して拒否権を発動した上で裁可した。

(3) 9月7日独立記念日デモ関連

9月7日、ブラジルにおいてボルソナーロ大統領が主宰した独立記念日を祝う式典が開催された。大統領は同日、ブラジル及びサンパウロでデモ隊を前に演説を行った。同日の政府支持デモはブラジル及び26の州都等主要都市において実施された。

9月9日、ボルソナーロ大統領は声明を公表。同声明の中で大統領は、7日の自身の演説は、連邦最高裁の判事を攻撃する意図は無かった、国民と経済を無視して緊張状態を続ける権利を大統領は有しない等述べた。

(4) 反政府デモの発生

9月12日、ブラジル及び18州都等の主要都市において、市民団体 MBL 及び Vem Pra Rua の主催による反政府デモが実施された。シロ・ゴメス元財務大臣、ドリアサンパウロ州知事、レイテ・リオ・グランデトスル州知事、マンデッタ元保健大臣等も加わった。労働者党 (PT) は参加せず、動員数では7日の政府応援デモを大幅に下回った。

(5) ボルソナーロ政権発足 1000 日関連行事

(ア) 9月27日、ボルソナーロ大統領は大統領府で行われた式典の中で、政権発足 1000 日を記念して演説を行った。大統領は、汚職との闘い、経済事情、軍部との関係、新型コロナウイルスのワクチン等について論じた。

(イ) 9月28日、大統領は零細農家に対する土地の権利書交付に関する式典に参加すべくバイーア州を訪問。29日には火力発電所の完成式典に参加すべくロライマ州を訪問した。

(6) 選挙制度改革に関する憲法修正案の上院通過と公布

9月22日、上院において、選挙制度改革に関する憲法修正案が可決され、

28日同法は公布された。今次改革のポイントは次のとおり。①2027年から大統領及び知事の就任日を1月5日(大統領)及び6日(知事)に設定する、②政党助成金及び選挙運動助成金の配分においては、下院議員選挙における女性及び黒人候補の得票数を2倍にして計算する、③下院議員等、比例選により当選した議員は、党籍変更の場合も議席を失うことはない。

(7) ボルソナーロ政権の支持率

9月16日、ダッタ・フォーリャ紙による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は22%（前回調査：24%）に下落し、不支持率は53%（前回調査：51%）に上昇した。

【外交】

(1) アフガニスタン難民に対する人道上の理由による入国査証の発給

9月3日、伯政府はアフガニスタン難民に対して人道上の理由による入国査証の発給を行うことを決定。

(2) モウラオン副大統領・外交団による東アマゾン地域視察

9月8日～10日、モウラオン副大統領引率による東アマゾン地域視察ツアーが開催され、各国の外交官、議員及びジャーナリストが参加した。外交団では、日本、スペイン、EU、アンゴラ、パラグアイ、仏、印、ウルグアイ、英、スイス各大使が参加した他、アブレウ上院外交国防委員長やマガリャエス外務次官等政府高官も参加した。

(3) ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合出席

9月9日、ボルソナーロ大統領は、第13回 BRICS 首脳会議（オンライン形式）の冒頭で演説を行った。大統領は、BRICS の各国との二国間関係について論じた他、多国間システムの強化と改革、新型コロナウイルス対策、WTO 改革、環境・気候変動対策等について言及した。

(4) ボルソナーロ大統領の国連総会出席

(ア) 9月21日、第76回国連総会に参加したボルソナーロ大統領は、一般討論演説を行った。大統領が扱った主なトピックは、経済・投資、環境・先住民、平和・安全保障、新型コロナウイルス感染症。

(イ) 国連総会のマージンにおいて、ボルソナーロ大統領は、9月20日にジョンソン英首相と、21日にドゥダ・ポーランド大統領及びグテーレス国連事務総長と会談を行った。

(5) フランス外相の国連総会出席

(ア) 第76回国連総会に参加したフランス外相は、ニューヨークにて、9月21日にブリンケン米務長官と米伯外相会談を行った他、20日～24日にかけてグアテマラ、ジャマイカ、シンガポール、ハンガリー、モザンビーク、コスタリカ、ペルー、エジプトの各外相との会談を実施。

(イ) 9月22日には、安保理改革に関するG4外相会合に参加。

3. トピックス

(1) 山田大使のマット・グロツソ・ド・スール州訪問

8月31日から9月2日の間、山田大使はマット・グロツソ・ド・スール州を訪問。アザンブージャ同州知事を表敬し、同州の日系社会、経済、環境等の分野にわたり意見交換を実施し、またトラッジ・カンポ・グランデ市長を表敬し、同市の日系社会等に関し意見交換を実施。

その他、カンポ・グランデ日伯体育文化協会等を訪問、移民先駆者慰霊碑への献花及び秋篠宮同妃両殿下ご訪問記念碑を視察し、同協会代表者をはじめ、同州各地から参集した各日系団体の代表者との意見交換を実施。またカンポ・グランデ市観光局による案内のもと、市内をバスで周回し、ハジオ・クルービ広場に設置された五重塔を模ったモニュメント及び日本人移民70周年記念碑を視察。



カンポ・グランデ日伯体育文化協会訪問



カンポ・グランデ沖縄県人会視察



トラッジ市長表敬



アザンブージャ州知事表敬

(2) 「新型コロナウイルス感染症に対する組織的能力強化プロジェクト」に係る補足取極の署名

ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府は、ペルナンブコ連邦大学ケイゾー・アサミ免疫病理学研究所 (LIKA) 及びオズワルドクルス財団 (Fiocruz) に対し、医療機材・試薬の供与及び技術支援を行うことを決定。本支援は、日本政府がブラジル政府のニーズを踏まえ、またブラジルとの友好協力関係に鑑み、ブラジルの保健・医療体制の強化に寄与するために、JICA を通じて実施されるもの。

9月17日(金)に、ペレイラ伯外務省国際協力庁長官と山田大使が本支援に係る補足取極へ署名。日本政府は本支援の他にも、CT スキャナーの供与、国際機関を通じた支援、地方政府等への寄付、専門家会議の開催、下院特別委員会での日本の取組紹介など様々な形態での協力を実施しており、引き続き、ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策の取組を力強く応援してまいりたい。



ペレイラ伯外務省国際協力庁長官と山田大使による署名式の様子

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) ブラジリア草月生け花展 (在ブラジル大使館)

日時：10月14日(木)～17日

場所：Casa Park

内容：ブラジリア草月と在ブラジル大使館と共催で生け花展を開催。14日のオープニングセレモニーでは山田大使から挨拶を行う。

(イ) オンライン・ビジネス講習会 (在クリチバ総領事館)

日時：10月28日(木) (仮)

場所：オンライン

内容：パラナ州日伯商工会議所と共催し、パラナ州若手日系の女性起業家による講演等を実施する。

(ウ) 「きみの瞳が問いかけている (Your eyes tell)」映画の公開 (国際交流基金)

日時：10月14日(木)～27日(水)

場所：映画館

内容：三木孝浩監督が描く映画作品(切ない純愛ラブストーリー)。キャストには吉高由里子、横浜流星など。

(エ) Criarte: criatividade, arte e encanto「満田晴穂」(国際交流基金)

日時：10月15日(金)

サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP

国際交流基金サンパウロ日本文化センター YouTube

内容：日本文化の美と想像力をテーマとしたオンライン動画シリーズを配信。記念すべき第1回目は、満田晴穂氏の自在置物の制作過程を紹介する。

(オ) Destaques da Biblioteca - outubro/2021 (2021年10月) (図書館の図書紹介) (国際交流基金)

日時：10月29日(金) 予定

サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館の蔵書から、毎月図書を紹介します。10月は、折り紙に関する図書を紹介します。

(カ) FJSP オンライン研修 (国際交流基金)

日時：10月30日(土)及び31日(日)

サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP

内容：「行動中心アプローチと Can-do で授業をデザインしよう」と題したオンラインワークショップ。南米諸国の日本語教師を対象として日本語で実施する。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症

流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第1四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsपोthazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html